

平成30年度茅ヶ崎市スポーツ少年団種目別交流野球大会（9月2日）

ティーボールの部 タイムテーブル 8時15分入場

各チーム車4台まで 1試合目のチームはグラウンド設営をお願いします

午前	試合時間		堤広場 B面(担当 増川 鶴スト)				入口側			
第1試合	9:00	～	9:30	香川グリーンスターズ		対	松林ベースボールクラブ			
	審判:	当該チーム		3	5	3	0	4	3	3
第2試合	9:40	～	10:10	香川グリーンスターズ		対	ニューライフ・湘南A合同			
	審判:	当該チーム		3	5	3	0	7	3	0
第3試合	10:40	～	11:10	鶴が台スターズ		対	ニューライフ・湘南A合同			
	審判:	当該チーム		5	2	0	2	7	3	0

午前	試合時間		堤広場 A面(担当 金子 松林BBC)				奥側			
第1試合	9:00	～	9:30	矢畑・梅田合同		対	鶴が台スターズ			
	審判:	当該チーム		7	2	1	0	5	2	0
第2試合	9:40	～	10:10	矢畑・梅田合同		対	鶴が台フェニックス			
	審判:	当該チーム		7	2	1	0	5	3	2
第3試合	10:40	～	11:10	松林ベースボールクラブ		対	鶴が台フェニックス			
	審判:	当該チーム		4	3	3	1	5	3	2

午後の部	車入れ替え		11時50分から来場							
第5試合	13:00	～	13:30	若草野球部		対	今宿少年野球部			
	審判:	当該チーム		6	4	2	0	5	2	1
第6試合	13:40	～	14:10	若草野球部		対	鶴嶺ストロングボーイズ			
	審判:	当該チーム		6	4	2	0	6	4	0
第7試合	14:20	～	14:50	今宿少年野球部		対	寒川エース・イーグルズ			
	審判:	当該チーム		5	2	1	1	4	6	0
	15:00	～	15:30	鶴嶺ストロングボーイズ		対	寒川エース・イーグルズ			
	審判:	当該チーム		6	4	0	0	4	6	0

午後の部	車入れ替え		11時50分から来場							
第5試合	13:00	～	13:30	一之宮・鶴スト		対	松浪オールスターズ			
	審判:	当該チーム		1	7	3	1	2	7	3
第6試合	13:40	～	14:10	寒川フレッシュスターズ		対	松浪オールスターズ			
	審判:	当該チーム		2	6	1	0	2	7	3
第7試合	14:20	～	14:50	三ヶ丘ブルーソックス		対	一之宮・鶴スト			
	審判:	当該チーム		1	5	3	0	1	7	3
第8試合	15:00	～	15:30	三ヶ丘ブルーソックス		対	寒川フレッシュスターズ			
	審判:	当該チーム		1	5	3	0	2	6	1

グラウンドの整備と片付けをお願いします(倉庫に運搬します)

グラウンドの整備と片付けをお願いします(倉庫に運搬します)

問い合わせは、鶴嶺ストロングボーイズ増川まで、TEL・FAX 82-4737 携帯 090-7251-0786

茅ヶ崎市スポーツ少年団 種目別交流大会 「テーパーの部」

テーパー大会野球規則 H30.9.2

小学3年生以下のチームを対象とする。グラブ、金属バットは公認道具を使い、ユニフォーム着用が原則である
選手は9人、3アウト制。試合は、6イニングス、試合時間は30分(打者まで)制限とする

【球場施設】

内野は塁間18.29m、投手板迄は14.02m、本塁から2塁まで25.82m
特別ファールゾーン(本塁からインフィールド4.5mの範囲)
ボールデッドサークル(投手板を中心とした直径2m円ライン)
ホームランライン(左翼36m、中堅42m、右翼36m)

【使用球】

BB1400練習球(ゼット製)を使用(ゼット セーフテーパー)

【バット】

通常使用しているバット又は主催者提供のバットとする。

【バッティングテーパー】

上下に伸縮でき、本塁ベース上に安定して置くことが出来る打撃テーパー。

【用具・衣服】

各野球団体に規則に適合したグラブ、ミット、シューズを使用。
ユニフォームは統一したものが原則(混合チームは除く)。
ユニフォームがない場合、動きやすい服装(安全を考慮)とする。
背番号は必要である

【チーム編成】

成人の監督(責任者)1人とコーチは4人以内とする。
3年生以下で編成されたもの。選手は20人以内。

【監督】

チームの運営、管理に責任を持つ成人、連絡責任者も兼ねるものとする。

【コーチ】

コーチは、成人でなくても良いが、指導力があるもので選手と違う服装が必要。

(攻撃の場合)

一塁・三塁側のコーチャーズボックスで選手に指示を与えるほか
1人は主審の横で打者を指導すると共に、投手より球を受け取り、主審へ手渡さねばならない。

【(守備の場合)アドバイザー】

2人以上がインフィールドに入り、捕球や送球にアドバイスをあたえることができる。インプレーのボールに触れてはならない。

【選手・選手交代】

守備は9人で行なう。交代はいつでも自由です。
打つ順番は、全員打撃制(守備に付かなくともよい)

【審判】

4人制で行なう。(又は3人制でもよい)

当該チームでおこなう。

(球審・2塁=当該 1・3塁審=当該)

球審は、判定に最終的な権限を持つ。

球審はテーパーの上にボールを乗せるほか、本塁でのプレーが予測される場合、事前にテーパーを走者の進路外へ移動しなければならない。

【記録係り】

各チーム1名選出し得点等の記録を記載

【成立イニングの例】

例1 先攻 000 001 6回裏攻撃に入る前に30分が経過
後攻 100 00 後攻が1-0で勝ち

例2 先攻 000 00 5回裏攻撃途中で30分を経過
後攻 000 01 後攻が1-0で勝ち

例3 先攻 100 002 6回表に逆転したが30分を経過
後攻 000 02 後攻が2-1で勝ち

【試合】

6イニングス又は時間制限30分(打者まで)
(成立しているイニングで勝敗を決する) 同点の場合は引き分け
※3アウト制と打者一巡での交代を併用する。

【集合】

チームは試合開始時間の30分前にはベンチ前に集合しグラウンドの記録係に到着確認をする。
使用ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。

【試合開始】

両チーム主将のジャンケンで攻守を決めた後、守備側の選手が定位置につくと主審がボールをテーパーの上に置き「プレー」を宣言する。投手はこの後、投げる動作に入り、打者はその終了後にテーパーのボールを打つ。プレー宣言後に、投球動作が無くても打者の打球は有効(ピッチャーには、次打者より投球動作の指導をする)

【バッティング】

フルスウィングしなければならない。

【ファールボール】

野球のファールボールに次の3つをつけ加える。
A) 打球がホームから4.5mのファールゾーン内にとまったとき。
B) バント、ハーフスウィングしたとき。
C) 球審がフルスウィングと認めなかった場合。

【三振】

2ストライク後、ボールにバットが直接当たらない場合は三振とする。

【離塁】

ランナーはバッターがボールを打つまでは離塁してはならない。
審判が早いと認めたときはアウトとする。

【ボールデッド】 審判員は「タイム」コールを宣言

第一優先 打撃によるプレーが終了し

①ボールを投手が投手サークル内で確保

②投手がサークル周辺で見なし確保と球審が判断した場合

この時点で、走者は塁に触れていなければならない。
ボールデッドになった時点で走者が塁間にいるときは進塁できず、手前の塁に戻る。

第二優先 プレーが一段落したと球審が判断したとき
(進塁は、球審の判断による)

例 ボールデッド

① 2塁ランナーが、3塁ベースを超えた時、ホームベース付近にてボールを確保

② 進塁の先にボールを確保している場合

【打球を直接投手に返球とみなされる動作】=ボールデッド
打球後に直接、投手に返球した場合、1塁走者は2塁・打者は1塁満塁の場合、押し出しで得点になる。
(踏前の塁が空いている場合は、戻す)

【ヘルメット】

捕手は必ずヘルメット(両耳保護付)を着用して守備につく。
その他は、バッターも含め任意とするが安全のため打者、走者ともヘルメットの着用。

【攻守交代】

1イニングで9人目の打者は、アウトカウントを2アウトとする

【審判コール】

試合開始=プレー (一球毎) 試合終了=ゲーム
ワンストライクプレー・ ツーストライクプレー・ ストライクスリー(バッターアウト)
スウィング=スタンドのゴム部分を打った場合、空振り